

# おぢや

# 市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 89

30. 7.25

編集発行  
小千谷市議会

☎83-3505



## 魚沼神社 太太神楽保存会

8月15日、16日の魚沼神社の大祭に向け、練習を重ねます。  
メンバーは小学生をはじめ中学生、高校生、大学生が約30名。(正会員は27名)

平成26年に小千谷市文化財に指定され、弥彦神社に神楽を奉納しました。ますます元気な太太神楽です。参加者も募集しております。

- 第2回定例会議決結果 ..... P 2
- 常任委員会報告 ..... P 3
- 一般質問 ..... P 3～7
- 議会日誌 ..... P 8
- 雪あかり、編集後記 ..... P 8

— 主な掲載内容 —

## 第2回 定例会 議決結果 (6月1日から6月22日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第46号	小千谷市税条例等の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第47号	小千谷市都市計画税条例の一部改正	//	//
	議案第48号	小千谷市体育館条例の一部改正	//	//
	議案第49号	小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	//	//
	議案第50号	小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	//	//
	議案第51号	小千谷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例等の一部改正	//	//
予 算	議案第52号	平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)	//	//
	議案第53号	平成30年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)	//	//
その他	議案第42号	専決処分(小千谷市税条例の一部改正)	//	承認
	議案第43号	専決処分(小千谷市都市計画税条例の一部改正)	//	//
	議案第44号	専決処分(小千谷市国民健康保険税条例の一部改正)	//	//
	議案第45号	専決処分(平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第1号))	//	//
	議案第54号	契約の締結〔千田小学校校舎大規模改造(建築)工事〕	//	原案可決
	議案第55号	財産の取得〔はしご付消防ポンプ自動車(30m級)〕	//	//
	議案第56号	財産の取得〔消防ポンプ自動車〕	//	//
	議案第57号	財産の無償貸付	//	//
	議案第58号	公共施設の相互利用に関する協定の変更	//	//
	議案第59号	小千谷市監査委員の選任〔佐藤昭夫氏〕	//	同意
	議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦〔田村恵美子氏〕	//	//
議案第61号	契約の締結〔(仮称)西部第二工業団地造成工事〕	//	原案可決	
発 議	発議案第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	//	//
請 願	請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

### 市議会を傍聴してみませんか

#### 第3回定例会日程

- 9月3日(月) 第1日 議案上程説明  
 9月4日(火)～7日(金) 各常任委員会で審査  
 9月20日(木) 第2日 一般質問  
 9月21日(金) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)  
 9月26日(水) 最終日 委員長報告、採決



※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。  
 委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。  
 議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

議員永年表彰者  
 全国市議会議長会  
 北信越市議会議長会  
 15年表彰  
 本 田 久  
 久 保 田 久  
 栄 剛



# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案5件について、4件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案5件全てを原案の通り可決すべきものと決しました。また、請願1件についても採択すべきものと決しました。

○議案第46号 小千谷市税条例等の一部を改正する条例の制定について

○議案第47号 小千谷市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

本2件は、地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、関係する条文の改正及び所要の規定の整備を行うものです。

○議案第48号 小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、小千谷市体育協会の名称変更に伴い条例の一部を改正するものです。

○議案第52号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)について

本案は、昨年12月に新潟県厚生農業協同組合連合会から寄付を受けた旧魚沼病院新館棟を(仮称)健康・子育て支援センターとする施設整備工事費、本館棟を解体するための工事費等の計上、地方創生推進交付金に係る新規事業採択による対象事業費の計上、農業基盤整備事業における農地整備工事費等の増額、社会資本整備総合交付金に係る事業採択結果による関連工事費の増減、及び千田小学校大規模改造工事における平成29年度補正予算へ前倒し計上分の減額などのほか、緊急を要するものについて予算の補正をするものです。

○議案第53号 平成30年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、平成27年度から4年間の継続事業として施工中である浄水場更新事業について、構築物の増額をするものです。

○請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願について

本請願は、豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級の実現と、教育の機会均等と水準

維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を国の関係機関に提出いただきたいというものです。

## 民生産業委員会

本委員会に付託されました議案3件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第49号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第50号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、いずれも国が示す省令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第51号 小千谷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、介護保険法施行規則の一部を改正する省令の一部改

正に伴い、包括的支援事業の実施の実施に係る基準を定める条例の一部を改正するものです。

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 空家対策について

佐藤 栄作 議員

質問 小千谷市では、空家バンク制度で対応しているが条例策定で対応しなくていいのか。

答弁 県内では約半数の市町村が条例を制定しているが、現時点では、条例を制定する必要はないと考えている。

質問 小千谷駅から旭橋を渡った左側の2棟の危険空家について解体等考えていないのか。

答弁 建物の不良度判定を行ったところ、旭橋側の1棟が特定

空家と判断された。今まで所有者に対して通知などにより適正な管理を促してきたが、今後は、空家対策の推進に関する特別措置法に基づき助言・指導などの手続きを進めていく。

質問 空家近くの住民、自治会からの苦情はどの程度あるか。また、対応について。

答弁 空家に関する苦情は、平成27年以降、情報提供も含めて17件あり、すべての物件において現地確認を行い、必要に応じて所有者へ文書等で適切な管理を行うように要請している。今後は、危険と思われる空家について小千谷市特定空家等認定要領に基づき不良度判定を行い、特別措置法に基づき必要な手続きを進める。

質問 空家対策の方向性について。

答弁 今年度中に対策計画を策定し、その計画に沿った空家対策を推進していく。

質問 安心R住宅の制度利用について。

答弁 安心R住宅制度はスタートして間もないので、実際にその適用条件を満たす物件が少ないのが現状である。

## 市長の政治姿勢について 病院跡地利用など

風間 順一 議員

**質問** 公平で公正な行政運営を基本としつつ、物事には真摯に取り組んでいくという初心を忘れずに、2期目に挑戦をして頂きたいと思うが決意の程を伺う。

**答弁** 平成の合併をしなかった小千谷市は、新潟県の中で比較的小さい市になりましたが産業や文化においてキラリと光るすばらしい資源がたくさんあり、これらを最大限活かしながら市民が誇れるまちへと歩みを続けなければなりません。

谷井市長から引き継いだ大きな課題であった病院統合の問題もめどをつけることができました。2つの病院跡地への対応や、市民への安全安心への取り組み、そして、人口減少に歯止めをかけるとともに活力ある社会を維持していくことを目指して取り組んでいる総合戦略に掲げた事業など、道半ばの仕事もたくさんあることを踏まえ、2期目にチャレンジし、微力ながら誠心誠意尽くす覚悟を固めたところでございます。市の発展は、

市民、議会、行政が一体となって力を合せ取り組むことが不可欠であると思っております。今後とも市民の皆様、市議会議員の皆様のご支援をいただけるよう頑張っております。

**質問** 小千谷総合病院跡地利用と本町商店街との話し合いは。

**答弁** 市も地権者の一員として準備組合が開催した地権者説明会に参加し、現在、市で進めている整備計画や今後の進め方を説明してきましたが、先般再開発準備組合より、再開発を目的とする新たな組織の立ち上げは、地権者の賛同が得られず設立を見送ったとの報告をいただいたところです。

## 新たな財源確保等・ひきこもり支援について

久保田 陽一 議員

**質問** 現在行っているコスト削減や税収以外の財源確保の取り組みと効果は。

**答弁** 需要費及び役務費の過去4年間の平均抑制額は1年あたり約600万円。平成29年度の行政改革、事務改善の成果は人件費を除き約400万円の節減、

その他広告付き封筒の導入などで40万円強の節減。財源確保についてはふるさと納税の活用を重点に対応しており、平成26年度寄付受入額は460万円だったが、平成29年度は約1億6300万円、約35倍の実績となった。また、今年度から企業版ふるさと納税制度の取り扱いについて国の認定をいただいた。

**質問** 新たな財源創出策の検討状況、取り組み導入の可能性は。

**答弁** ソーシャルインパクトボンドについては当市の人口及び対象とする事業規模を踏まえ、連携すべき地方自治体及び事業導入の効果についてネーミングライツとともに研究したい。

**質問** ひきこもりに対する見解は。

**答弁** ひきこもりの要因は多様であり、長期化すると精神面での不調などの二次的な問題を引き起こす可能性がある。社会生活から遠ざかることで就労や自立が困難になると承知している。

**質問** まずは保健福祉課内に専門の対応窓口を設け、ひきこもり当事者の相談の受付、当事者数など実態の把握を行うべき。

**答弁** 現状では保健福祉課の健康センター、社会福祉課、学校

教育課、教育センター並びに障がい者基幹相談支援センター等複数の部門で行われており、個別のケースに併せて対応できる体制づくりを進めていく。

## 学童クラブ、児童手当、要支援タクシード

内山 博志 議員

**質問** 核家族化が進み、若い世代の共働が進んでいる。保育のニーズが増えているが小学校就学時にも同じようなことが起こっている。小千谷市が子育て支援事業として責任を持つていく必要がある。空き家利用も含め、安定的な場所の確保など環境整備をする必要がある。

**答弁** 空き家利用も含めた安定的な場所については、児童数、安全確保などを含め、関係者と協議し検討したい。

**質問** 児童手当が国の制度として4カ月分まとめて支払われているが、財政調整基金を活用し、市独自に前倒しについて検討できないか。国に前払いを要請しただろうか。

**答弁** 全国共通の制度。市町村の工夫では対応できない。国に

も要請することは考えていない。**質問** 介護保険法が改定され要支援者は介護保険から外され、市の事業に移された。要支援者の介護認定が他の自治体に比べて大幅に低くなっているがタクシード券原則廃止も要因と聞く。高齢になり車の運転も危険性が増し、引きこもりも考えられる。高齢者も多くの人と関係を持ちたいと考える人は多いと考える。バスなどの公共交通も大事だが、きめ細かな自由度を持った介護タクシード券の復活を考えるべきではないか。

**答弁** 介護タクシード券は必ずしも自立支援につながらず廃止した。認定者が減少したのは運動器の機能向上強化や対象者把握を入念にしてきたことも効果と考える。生活支援サービスの体制整備事業の中でコーデイネーターを配置し、地域にあった移動支援対策を検討したい。



## 道路除雪対策等と 河川洪水対策について

山賀 一雄 議員

**質問** 融雪施設に係る電気料金の補助対象期間を降雪の状況により対応すべきだ。

**答弁** 12月から3月分の4カ月を対象としているが、今後、降雪の実態に合わせてよう検討したい。

**質問** 融雪施設電気料補助率の引き上げを図るべきではないか。  
**答弁** 当面は現在の補助率で考えているが、人口減少等社会情勢の変化に伴う受益者の負担増を見据え、財政の見通し、財源の確保も含め検討課題と考えている。

**質問** 降雪は自然災害であり、これに係る除雪経費をこれまで以上に、強く国県に働きかける必要があるのではないか。

**答弁** 特別交付税における「財政事情及び特別交付税に係る特殊事情等」とする財政支援措置を強く要望しており、県及び市長会等と連携し、国へ財政支援措置の拡充を要望していく。

**質問** 河川洪水対策において、茶郷川堤防高上げに伴う内水対

策をどのように考えているのか。

**答弁** これまでの豪雨の際に、特に住宅浸水被害が集中した地区を対象に、内水被害を軽減するために排水施設等を設置する。現在、城内地区3箇所です工事を進めている。

**質問** 茶郷川に設置される板柵花壇の管理はどかがやるのか。地元団体としたら組織的な体制に心配がないのか。

**答弁** これまでの経過から、河川美化事業の推進を目的に組織されている茶郷川環境整備協議会と考えている。この協議会の組織体制は、沿川6町内会で構成されているため、体制的には充分なものと考えている。

## 子育て支援・学校の 安全対策・防災

住安 康一 議員

**質問** 祖父母の孫育て応援のための手帳やリーフレットの作成と配布をするべき。

**答弁** 今年度、「孫育てのお話会」を開催予定。その講座を通じて悩みや相談を聞き、必要なことを考えていく予定。

**質問** 電子母子手帳サービス

導入すべきと考えるが。

**答弁** 多くの課題がある。今年度は乳幼児検診時に利用ニーズの把握を行うとともに、マイナポータルを活用した情報提供も含めて検討。

**質問** 休日保育事業について。

**答弁** アンケート調査を行う予定。そのニーズを踏まえ、今後の検討課題としたい。

**質問** 防犯カメラを全ての学校に早急に設置すべき。

**教育長答弁** 学校現場の意見も参考にしながら、今後検討。

**質問** モデル校を決めてセーフティープログラムをスクールに取り組むべき。

**教育長答弁** 考えていない。

**質問** 避難行動要支援者避難支援制度におけるガイドブックの製作が必要。

**答弁** 考えていない。よりわかりやすいマニュアルとなるよう、適宜見直しをしたい。

**質問** 聴覚障がい者や視覚障がい者が、災害時に情報伝達やコミュニケーションがうまくいくように、災害時用ビブスや「災害時緊急カード」を製作し、配布すべき。

**答弁** 支援については、各種マニュアルなどに記載している。

より適切な支援ができる方法について研究したい。

**質問** わかりやすい避難所運営ガイドの製作が必要。

**答弁** 今後、研究する。



登下校時の見守り

## 病院跡地利用・ 特別支援教育と 地域の在り方について

森本 恵理子 議員

**質問** 旧小千谷病院跡地利用について

**答弁** 約2千万円の予算をかけた民間活力導入可能性調査の目的、費用対効果などについて。

**質問** 国が示したPFI事業実施に関するガイドラインに基づき、PFI事業としての適否を検討、実現可能性を調査した。

**答弁** 一定規模以上の公共施設を整備する場合、また一定の維持管理費がかかる場合、PFI事業を検討することという国の指針に基づいて行った。結果的には経費削減につながると認識。

**質問** 移転後、現在の図書館の今後の方向性について伺う

**教育長答弁** 施設を廃止し、売却、譲渡を基本に取り扱っていく。

**特別支援教育と地域の在り方**

**質問** 総合支援学校設立の経緯は深く理解するが、地域から見えない存在になってしまっているのではないか。小千谷で生まれた子どもたちがどんな病気や障がいを抱えていても、差別されることなく、また区別されることもなく、同じ空間で切磋琢磨することで学び合えるものだと思うが、特別支援学校と特別支援学級との違いについて伺う。

**教育長答弁** 特別支援学校は学校教育法に規定されている障がいのある児童生徒を対象にしており、児童生徒一人当たりに対する教職員の数も多い。支援学級は支援を要する生徒を対象にしている。

**質問** 世界の流れに反し、日本は分離教育を容認しているが、インクルーシブ教育推進に伴う特別支援教育の在り方、今後の方向性について伺う。

**教育長答弁** 大切な視点であり、積極的に取り入れている。今後交流が継続し、相互理解が深まるよう支援していく。

## 学校給食費の 公会計制度移行について

佐藤 隆一 議員

**質問** 学校給食の食材費は、各学校単位でやり繰りされています。しかし、大規模校では数千万円を取り扱うことになり、大きな負担となっています。振替不能などにもなう精算業務はどのくらいあるのでしょうか。

**教育長答弁** 振替不能は月平均27件あり、転入・転出や長期欠席、学級・学年閉鎖、修学旅行などの返金業務が発生します。その都度処理したり、年度末に一括行なうなどさまざまですが、大規模校は比例して多くなります。

**質問** 滞納世帯はどのくらいあるのでしょうか。また、滞納世帯への対応はどのようにされているのでしょうか。

**教育長答弁** 平成29年度については、小中学校全体で2世帯です。まず教職員が督促を行い、改善しない場合は教育委員会名で督促状を郵送します。

**質問** 学校給食費の徴収事務は本来誰が担うことになるのでしょうか。

**教育長答弁** これまで国は「学

校長が徴収・管理することは差し支えない」としてきましたが、昨年働き方改革に関する緊急対策にもなっており、「給食会計の透明化を図り、教職員の多忙化解消のため、地方自治体が行なう業務である」として、自治体が行なう業務としました。

**質問** 今後、公会計制度に一本化し、教職員が授業に専念できる環境整備をすすめ、業務負担を軽減すべきではないでしょうか。

**教育長答弁** 国は公会計制度導入に向けてのガイドライン作り

に乗り出しています。小千谷市も国の動向を見ながら取り組みを進めたいと考えています。

## 会議等のペーパーレス・ 広域観光施策他

駒井 和彦 議員

**質問** 会議等のペーパーレス化についての検討と今後の考え方

及び電子決裁の導入について。  
**答弁** 電子決裁の導入は現在考えていない。プロジェクト、パソコンの活用により、紙の減量化に努める。

**質問** 広域的観光施策により、

最少の経費で最大の効果を図ること及び広域的な周遊コース設定の検討について。

**答弁** 自治体や観光団体と連携し事業連携を推進している。周遊コース設定も検討していく。

**質問** 市長が主導して職員同士が気軽に話し合える場をセッティングはどうか。

**答弁** 私が主導するまでもなく、平成28年度から中越と魚沼地域12市町村で中越・文化観光産業支援機構に参画し、広域的連携施策に取り組んでいる。連携を一層深め、広域観光施策の推進に取り組む。

**質問** 児童・生徒の安全確保を、住民自治の観点から、方策を探る事について。

**教育長答弁** 関係者等と、地域の子どもを地域で守るという気運を一層高めていけるよう取り組む。

**質問** ハザードマップを作り、地域住民に配布、周知徹底させてはどうか。

**教育長答弁** 情報内容の不確実性及び一過性など、情報の性質上難しい。引き続き不審者情報

の連絡体制の強化等、安全確保に万全を尽くす。

者も含めた子ども達への、心理面のアフターケア体制について。  
**教育長答弁** 全校体制で子どもの様子を見守り、県教委に、臨床心理士派遣を要請したり、市内のスクールカウンセラー等を派遣する。



## 安全安心なまちづくりと 病院跡地利用について

阿部 正行 議員

**安心安全なまちづくりについて**

**質問** 通学路の安全確保は。

**教育長答弁** 学校を中心に保護者・地域の方々と協力し、日々取り組んでいる。

**質問** 不審者情報について。

**教育長答弁** メールや電話の連絡網で伝達しているが、緊急情報メールの活用などを今後検討する。

**質問** 防犯カメラについて。

**答弁** 市では学校や総合体育館等設置しているが町内会等の設

置の補助については、今後検討したい。

**質問** 高齢者等免許返納制度について。

**答弁** 今年5月に市老人クラブ連合会から補助の要望書が提出されたが、公共の公平性、制度の必要性について検討する。

**質問** 火災対応について。

**答弁** 糸魚川大火を踏まえ消防本部において「災害危険区域等火災防ぎよ計画」を策定中であり、火災による被害の軽減を目的としている。

**質問** 特殊詐欺について。

**答弁** 各地域のいきいきサロンや高齢者学級等で周知している。

**旧小千谷病院跡地利用について**

**質問** 跡地利用のソフト面についての取り組みは。

**答弁** 病院跡地に整備する施設は「賑わい・交流・憩いの創出」を基本方針に図書館を核とした複合施設とし、今年度学識経験者等からアドバイスをいただきながら、民間事業者から提案いただくことになっている。

**質問** まちなか歩きルートは。

**答弁** 西脇邸（事業者所有）の活用等当市を代表する歴史文化施設があり、誘客に繋げていきたい。

## 子ども・子育て支援について

長谷川 有理 議員

子ども・子育て支援について

質問 当市の課題は何か。

答弁 公立よりも私立に手厚い国の保育所運営費負担や補助の現状があり、公立保育所の比率が高い当市では多様なニーズに対応出来る財源の確保が課題。

質問 民営化を進めるのか。

答弁 保育所の民営化は行政改革のテーマとして常にあがっているが現状維持。国の保育の無償化を公立においても訴えている。

質問 当市の子どもの貧困率は。就学援助の数値等から推測できる。実態調査を反映した施策を。

答弁 調査し反映させたい。

質問 当市の児童虐待の実態は。

答弁 平成29年度は36件。小千谷市子どもを守る地域連絡会を中心に情報共有と対策協議を図る。

質問 子育て相談サポート体制は。

答弁 各相談体制を整えているが電子メールでの受付も行っている。

質問 電子メールの受付は何件。

答弁 昨年度は0件。

質問 当事者の声を救い上げる仕組みを。子ども・子育て支援会議委員の構成年代も考慮を。

答弁 声を聴くことが大切。検討する。

（仮称）健康・子育て支援センターについて

質問 小千谷版ネウボラとは。

答弁 子育て支援のワンストップサービス。保健師等の専門職による相談機能の充実等を図る。

質問 病児・病後児保育事業は。

答弁 基準通りの看護師、保育士を配置し協力医療機関も内定済。

質問 施設の事業開始の予定は。

答弁 平成31年早期を予定していたが、解体工事により若干遅れる見込み。早期開始を目指す。

父親支援について

質問 父親支援の視点を施策に。

答弁 大切と認識し反映させた。



子どもたちは地域の宝

## 新浄水場について

上村 行雄 議員

質問 本稼働までのスケジュールについて。

答弁 工事は順調に進捗し試運転を開始した。7月には総合試運転を開始し、10月以降は職員の運転訓練と来年4月の供用開始まで設備全体を適正な状態に保つための維持管理運転を行いたいと考えている。

質問 無人化による人員体制と管理体制はどうなるのか。

答弁 浄水場の更新に当たり、無人化を基本方針として決定している。職員は配置は考えていない。しかし無人化による運転管理上、様々な局面で迅速に対応するための実践経験と能力を身につけることが前提となる。

多様なリスクに対応できる状態になるまでは、一定の期間職員を配置する必要がある。無人化を見据え、そこに至るまでの工程表づくりを予定している。

質問 メダカを使ったバイオアッセイ装置はどのようなメリットがあるのか。

答弁 他の水質検査機器では検

出できない多様な毒物を検査し汚染を迅速に把握するためには重要な装置である。全国で約200台が導入され、高い評価を得ており安全な水質確保の重要性から設計の段階で採用を決定した。

質問 新浄水場稼働後の水道料金値上げの検討状況と今後の方向性について。

答弁 平成25年度の基本設計に当たり、複数案を比較検討し、事業費の最も安価な案を採用したが、それでも値上げせざるを

得ない試算結果となり、来年度に料金改定の検討作業を進める予定。平成32年度には水道料金の値上げが必要となる認識を持っている。



完成した新浄水場

## 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。(平成30年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

## 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

〈4月〉

- 5日 議会報編集委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 13日 新潟市議会行政視察来市
- 26日 北信越市議会議長会定期総会（富山市）

- 19日 本会議（第2日）
- 20日 本会議（第3日）

- 22日 議会報編集委員会
- 27日 議会改革検討委員会
- 27日 議会運営委員会
- 27日 本会議（第4日）
- 27日 柏崎港整備・利用促進協議会通常総会（柏崎市）

〈5月〉

- 15日 議員協議会
- 〃 議員クラブ会
- 〃 議会改革検討委員会
- 17日 鹿兒島県日置市議会行政視察来市
- 〃 魚沼市議会行政視察来市
- 〃 県特別豪雪地帯市町村議会定期総会（柏崎市）
- 21日 上越新幹線活性化同盟会総会（新潟市）
- 23日 魚沼市議会行政視察来市
- 25日 議会運営委員会
- 30日 全国市議会議長会定期総会（東京都）

〈6月〉

- 1日 第2回定例会（本会議）
- 〃 議会報編集委員会
- 4日 常任委員会連合審査会
- 5日 総務文教委員会
- 6日 民生産業委員会
- 19日 議会運営委員会



71



関田 孝史（平沢）

市議会だよりに、議員発議による「手話言語条例」を全会一致で可決との記事が載っていました。市民・行政・議会の皆さんが、笑顔で「アイラブユー」の指文字」は、私が最も感動を受けた写真です。

私は4人兄弟ですが、姉、妹、弟は聴力に障害があるため、小千谷では受け入れられず、県立長岡聾学校へ行きました。寄宿舎で過ごしていたことから、私は、実質一人っ子でした。

この頃の状況は、皆が手話を使い、わからないのは私だけ。

しかし、ろう者同士のコミュニケーションは手話が使われているのに、最近まで聾学校では原則禁止とされていました。手話を言語として認める法律の制定は平成23年のことです。

42年ほど前、小千谷にはまだ手話サークルはなく、手話通訳者を目指した私は、長岡で手話講習を受講しました。その後小千谷手話サークルが出来ましたが、父親が交通事故で入院が続き、5年ほどで退会。

今は指も頭も動きません。それにしても中越大地震のときは、避難所などでいろんな声情報があっても、聞こえない人たちは苦労されたと思います。

そのときは、県聴覚障害者協会から手話通訳者が派遣されたとのことでしたが、やはり地元にいる人、そして複数人いてほしいですね。

現在、市主催で手話奉仕員養成講座が開催されています。

手話言語条例の制定が、ろう者そして手話への理解や普及に繋がってほしいと願っています。



編集後記

FIFAワールドカップが閉幕した。4年に一度のサッカーの祭典であり、プレイヤーにとっても待望の大会であった。サッカーを通じて、何故こんなにも盛り上がるのか。

サッカーの攻撃には「ドリブルで仕掛ける」と「どんな角度でもシュートを放つ」の2つがあり、ドリブルで前線近くまで持ち上がると、敵は慌ててファールを犯す事が多々ある。フリーキックは、ほとんどが外れるが、時として思いもよらぬ軌道を描きゴールに突き刺さる。また、ダイフエンダーに当たってオウンゴールを呼び込む。ここで重要なのは「勇気を持って仕掛ける」事だ。

人口減少社会と言われ久しい。これからの街づくりも同じではないだろうか。

当市は平成の大合併をスルーし、自主自立の道を選んだ。そして現在、当市の未来に繋がるプロジェクトがいくつも進行している。まさに今後も「勇気を持って仕掛けていく」事が大事だと改めて思う。

編集委員 駒井和彦